

平成30年度 第2回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日時 平成30年6月8日（金曜日） 15時から16時50分まで

会場 飯田橋レインボービル 2階2B会議室

出席者 吉川委員長、奥秋副委員長、秋谷副委員長、宮田副委員長、浅野委員、三瓶委員、相良委員  
深澤委員、会田委員、久保委員、鈴木委員、橋爪委員、清水委員

13名出席（山本委員、平田委員 欠席）

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長森下 他6名

## 1 開会

吉川委員長	・開会宣言
事務局	・東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶 ・出席状況報告 ・資料確認 次第 第1回検討会議事録【要旨】 資料1 事前準備について 資料2 現場のリーダーの姿 Ver.1 資料3 サービス管理責任者研修標準カリキュラム案 資料4 研修実施概要（分野別研修） 資料5 東京都サービス管理責任者研修実施要領 ・本日は全体会のため、議事の内容については東京都心身障害者福祉センターホームページにて議事録として公開をする。また、記録のための録音をご了解いただきたい。

## 2 新体系における各研修の獲得目標と要素の明確化

### ○第2回検討会の到達点の確認

吉川委員長	・本日は、各研修の獲得目標を明文化することが大きな議事となっている。 ・現場のリーダーであるサビ管と児発管のあるべき姿を目指して、東京都の研修で何ができるのかを文字にしていき、「まとめシート」として模造紙1枚に素案を作り、見える化することが本日の作業となる。 ・何が事業所の質の向上に繋がるのか、都内の障害児者の幸せな暮らしに繋がるのか、そのために研修参加者に何を持ち帰ってもらうとよいのかということ念頭に組み立てていただきたい。
-------	---

### ○各研修（基礎、実践、更新）の科目の獲得目標と要素の明文化

吉川委員長	・委員の方には、事前課題として、研修のねらい、研修項目と獲得目標、研修に含めたい要素を考えていただいた。既にメールで送られた内容もあるので、そ
-------	---

	<p>れらを出し合って、素案を模造紙に作っていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業の方法は、副委員長がチームリーダーとして各チームに入っているため、進め方はお任せする。</li> <li>資料3以降を読むと、標準カリキュラムに引っ張られてしまうという方もいるかもしれないが、自由に意見交換し、東京都らしい自分達らしいものを作ってよいかと思う。</li> <li>話し合いの中で、模造紙には書ききれない良い案がひらめいた時は、事例の検討の際など、今後に役立てていけるよう記録として付箋に書き残してほしい。</li> <li>各チームの作業時間は、第一段階として、16時を目途に、ポスターセッションでチームの素案を発表してもらい、他のチームから意見をもらう。最終的には、他チームからの意見を組み入れるか入れないかも含めて検討し、まとめを作成する。</li> <li>本日の作業の終了は16時55分を予定している。</li> </ul>
--	---

○まとめシートの素案作成（チーム作業）

○まとめシート素案発表

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表は、模造紙ができ上がっていないチームもあるため、当初予定していたポスターセッションではなく、その場で発表することとする。</li> <li>どのようなことが話し合われたかを発表し、発表毎に意見を出し合いたい。</li> </ul>
-------	--

<基礎研修チーム>

奥秋副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年目くらいの人を対象に考えた。</li> <li>若い方は初めての研修となる。大切にしたいと思ったことは、個別支援計画作成は、加算をなくさないとか減算にならないなどの大人の事情ではなく、どうして個別支援計画書が必要なのかを押さえないといけない。それをしないと、やらされ感になり業務が楽しくないので、そこに講義や演習の時間をかけたい。</li> <li>獲得目標は、国が出しているものは押さえるが、最終的には個別支援計画が作れるようになるということ。アセスメントや見立て、サビ管業務としての全体を、実践研修よりじっくり組み立てる。</li> <li>要素については、後半の話し合いでまとめる。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のチームから加えてほしい事があれば、意見をいただきたい。</li> <li>こちらのチームを回った時に、「虐待防止や差別解消は全研修に共通か。利用者の権利擁護についてもそれぞれの場所に出した方がよい」との声があったがいかか。</li> </ul>
清水委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回、子どもから大人まで、分野別であったものが一緒になるということでは、あえて意識してもらうことも含め、要素の中に「生涯発達」を入れて、生まれ</li> </ul>

	てから死ぬまで発達は続くことを入れてほしい。
久保委員	・高齢化まで全部含めてということになるかと思う。
宮田副委員長	・福祉に携わる者としての考え方というか、「虐待防止・権利擁護」の視点などの基本的なところを押さえることだと思う。
吉川委員長	・福祉人としてということか。どう表現するとよいか。人間観、援助観を問うというところになるか。
宮田副委員長	・人に対して真摯に向き合う力になるのではないかと。

#### <実践研修チーム>

宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの目標を獲得することにより、支援の向上を目指すことが実践研修のねらいになると考えた。</li> <li>・獲得目標としては、プロセス管理、チームマネジメント(目標共有)、地域関係機関との連携、リスクマネジメントとなる。</li> <li>・プロセス管理の仕組みづくりをすることが、サビ管に求める役割だと思う。その上で、個別支援計画を立てることまでは基礎研修でやっているため、実践し、PDCA サイクルとしてきちんと計画どおりにされているか、修正する必要があるのかを考えることができるということが支援の質につながると考えた。</li> <li>・親対応は子どもだけではなく成人でも大事であり、個別支援計画書を立てた時に同意をもらうことや、日々の細かいところは指導員に任せていても、家族とのニーズがずれた時の調整はサビ管がすることになる。</li> <li>・支援は一人でするのではなく、チーム全体で情報と目標を共有しながら行わなければならないため、チームマネジメントは必要と伝えることが大切と考えた。それにより、支援の質の向上が目指せる。</li> <li>・人材を育てることも大切であり、個別支援計画の助言や指導ができることや、スキルを向上させるだけではなく、指導員のモチベーションを上げる力を持つこともサビ管として求められるのではないかと考えた。</li> <li>・地域関係機関との連携については、地域関係機関の情報をきちんと把握し、関係を築いていることが大切となる。</li> <li>・リスクマネジメントは、事業所の運営ができる力のことであり、ヒヤリハットや事故苦情への対応などの仕組みづくりができる、また、方法を知ることが大切と考えた。</li> </ul>
--------	--

#### <更新研修チーム>

秋谷副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新研修は5年ごとに受けることになるが、若い方からベテランまで幅広い人が対象となる。なおかつ、国からまだカリキュラムが出ていないため、6時間で何を詰め込めるかを考えた。</li> <li>・ねらいは、サビ管・児発管の後進の育成と、地域課題の取組への対応。そして、分野別がなくなるため、他分野を知ること。5年に1回の研修となると変化し</li> </ul>
--------	---

	<p>ていることもあると思われるため、福祉以外の全体の事も含めて入れてはどうかと考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要素は、ねらいとして上がったものに落とし込んだ。</li> <li>・育成については、個別支援計画を立てる上でのアセスメントの大切さやスーパービジョン、自分自身を振り返り初心を忘れないようにすることが大事。</li> <li>・地域課題については、連携先として行政、医療、インフォーマルなもの、労働のこと、サービス利用計画との連携もあり、地域の課題の分析が必要となる。</li> <li>・他分野は、医療のことなども含め幅広く入れてはどうかと考えた。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関係は、実践研修と被るが棲み分けは必要か。それとも、それぞれであらためて考えていくか。</li> </ul>
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し違う感じがする。実践は一人の利用者に対しての連携を考えるということだが、更新はもっと広い意味での連携という形になるのではないかと思う。</li> </ul>

### ○まとめシートの作成（チーム作業）

### ○まとめシートの発表

#### <基礎研修チーム>

奥秋副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいは、「どうして作るのか」を考え、基本を掘り下げる。これがあり方とすると「どうやって作るか」はやり方になる。あり方とやり方を学んでもらいたい。</li> <li>・獲得目標は、計画の作成やモニタリングまでを含めたサビ管の仕事の全体像を習得することと考えた。</li> <li>・要素は、本日最初にあげた内容について、研修を通しポイントごとに振り返ることをしたい。また、先程、意見としていただいた「生涯発達」も要素に組み込んでいくというところで、研修がどうなるか新たな課題。</li> </ul>
--------	---

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践研修と更新研修は、素案をそのまま書き写した形になっているため、発表は省略させていただく。</li> <li>・短時間に密度の濃い検討をしていただいた。無事に本日の目標まで到達し、課題の整理ができた。</li> </ul>
-------	--

### 3 事務連絡と閉会

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回は6月29日金曜日の15時から17時。会場は飯田橋セントラルプラザの12階研修室になる。</li> <li>・次回は研修のイメージが付いてきたところで、どんな事例をどのように扱うかを、本日のようにグループで考えながら進めていただきたいと考えている。</li> </ul>
-----	--